

株式会社ミツウロコグループホールディングス

〒104-0031

東京都中央区京橋三丁目1番1号

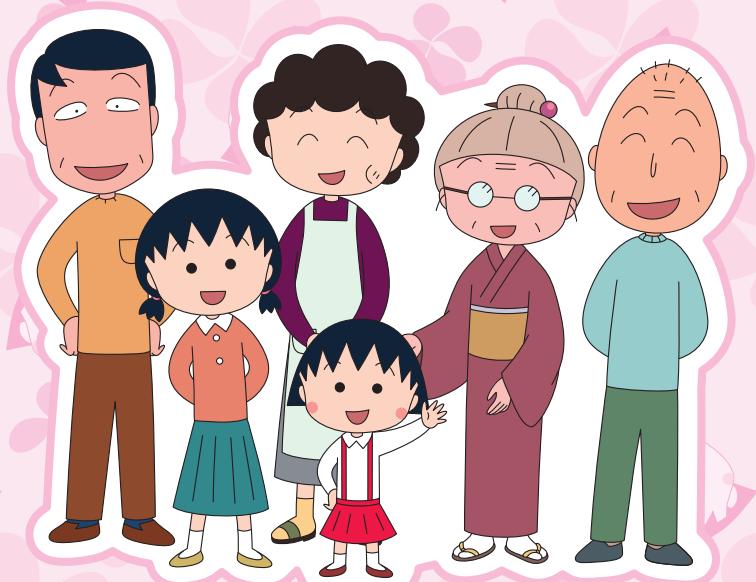
TEL:03-3275-6300(代表) FAX:03-3275-6350

mail:ir-sec8131@mitsuuroko.co.jp

▲ 株式会社ミツウロコグループホールディングス

第107期 株主通信

2015年4月1日～2016年3月31日



ちびまる子ちゃん 「ちびまる子ちゃん」(フジテレビ系列)で
ミツウロコ企業広告CMオンエア中!
©まくらプロダクション/日本アニメーション

Investors' Note ~Mitsuuroko Overview~ 107th

感動を、 次々と。

私たちは、いつの時代も暮らしのエネルギーとなる商品、
未来を拓くチカラとなるサービスを、
より多くの人へ街へ、届け続けます。



エネルギー事業

LPガス、石油、新エネルギー機器等の販売、物流サービス



電力事業

風力発電、バイオマス発電、
メガソーラー発電、特定規模電気事業での電気販売



PM / 健康・スポーツ事業

オフィスビル、マンション等の賃貸、複合商業施設の経営



フード&プロビジョンズ事業

清涼飲料水製造・販売、飲食店や施設内売店・食堂の運営、
プレミアムバーガーレストランの経営等



リース事業

一般事務用機器、
情報通信機器、産業用機械、輸送機器等のリース



業務サポート事業

料金収納代行、システム開発等



保険代理事業

火災保険、損害保険、生命保険等、各種保険の取り扱い

DATAで見るミツウロコグループ

売上高

1,910億円

第107期連結 2015年4月1日～2016年3月31日

経常利益

46億円

第107期連結 2015年4月1日～2016年3月31日

設立

90年

従業員数

1,674名

2016年3月末

エネルギー事業店舗数

83店舗

2016年3月末

フード&プロビジョンズ事業店舗数

98店舗

2016年3月末

LPガス供給軒数

約80万軒

2016年3月末

再生可能エネルギー発電量/年間

2億3千万kWh

※現在建設中及び計画中発電所を含む

エネルギー自由化に向けた取り組み と更なるサービスの拡充を進めます。



第107期（平成28年3月期）の業績について

当期における我が国の経済情勢は、政府の経済政策や金融緩和策を背景に緩やかな回復基調となり、円安・株高の影響もあり輸出企業を中心に収益の大幅な改善が進んでおります。また、個人消費については、雇用・所得環境改善に伴い、消費マインド持ち直しの動きは見られたものの、物価上昇や、消費の基盤となる個人所得の水準は小幅な改善に留まっていることや中国経済の下振れ懸念や欧州の不安定な情勢などの懸念材料もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境におきましては、原油価格が前期に急落し、一旦上昇に転じるものの、石油輸出国機構（OPEC）の減産見送りなどにより、石油製品市況は再び下落基調となりました。またLPガス仕入価格の指標となるCP（Contract Price = 輸入通告価格）も下落傾向にあるものの、消費者の「省エネ」意識の定着と「省エネ機器の普及」から世帯あたりのエネルギー使用量は減少傾向に

あり、更に小売市場において消費者の選択志向が強まる中消費者獲得競争が激しさを増すなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

こうした状況下、当社グループは様々な業務コスト削減策の取り組みにより経営の合理化を進めるとともに、エネルギー事業の拡大を図るため、サービスメニューの拡充による新規顧客の獲得に努めた結果、当連結会計年度の売上高は前期比13.7%減の1,909億90百万円、営業利益は前期比5.3%減の36億2百万円、経常利益は前期比5.2%増の45億89百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比1.1%減の26億26百万円となりました。

今後、当社グループといたしましては、エネルギー自由化に向けた取り組みと更なるサービスの拡充を進めてまいります。2016年4月よりスタートした低圧電力の小売については、既存のお客様への提供サービスを約1,700社のミツウロコ会販売店様と共に展開してまいります。また、今年度より、

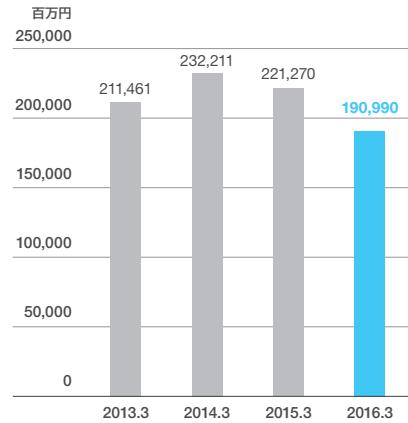
エネルギー及び周辺サービスの四国地域進出による業容の拡大や、新たなサービスとして光通信を活用した「ミツウロコ光」、学校内に防犯カメラとアンテナを設置した児童見守りサービス「ツイタもん」、店内調理の焼きたてパンなど特色ある商品を提供するVC（ボランティアチェーン）店舗の展開など、お客様への安心・安全・快適なサービスのご提供に取り組んでおります。

これら取り組み等も併せ、これまでに増して“豊かなくらしのにないて”として、広く社会に貢献し得る企業グループを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの経営活動にご理解をいただき、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 グループCEO 田島 晃平

売上高



① エネルギー事業

LPガス仕入価格の指標となるCPの下落や石油製品全般において原油価格が大幅に下落した影響を受けたことにより、前期比で402億25百万円(20.6%)減少の1,553億7百万円となりました。

② 電力事業

特定規模電気事業者として関西以西のマーケットを拡大したことにより、前期比で58億70百万円(33.1%)増加の236億27百万円となりました。

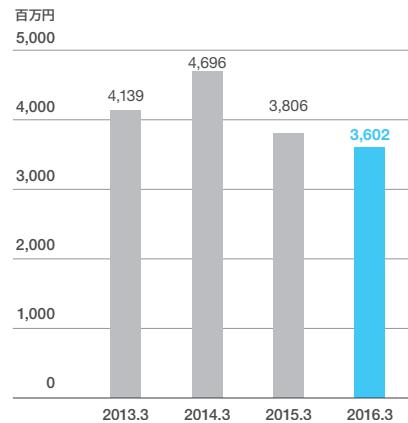
③ PM/健康・スポーツ事業

PM(不動産賃貸)事業での入居率向上や、スパの入場者数の増加ならびに客単価引上げなどの収益改善に注力したものの、前期比で7百万円(0.3%)減少の27億90百万円となりました。

④ その他事業

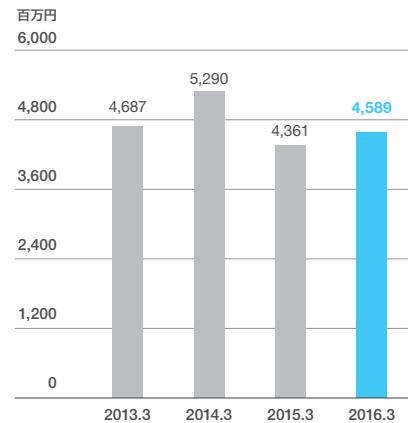
飲料水の販売量増加やショップ&レストラン事業部を立ち上げ、企業や病院あるいは公共施設などにおける売店及び食堂事業の運営を開始したこと等により、前期比で40億82百万円(78.8%)増加の92億64百万円となりました。

営業利益



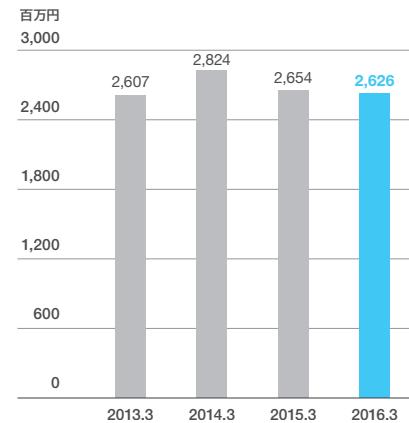
電力事業では特定規模電気事業者として電力販売量の増加、PM/健康・スポーツ事業では減価償却負担額の低減や販売管理費の削減効果等もありましたが、その他事業でのリース事業の販売管理費増加の影響等もあり、営業利益は前期比5.3%減の36億2百万円となりました。

経常利益



営業利益が2億3百万円減少した一方、持分法による投資利益の減少やデリバティブ利益の増加等による営業外収益の増加、デリバティブ損失の減少による営業外費用の減少等により経常利益は前期比で2億28百万円の増加となりました。

純利益



経常利益が2億28百万円増加した一方、固定資産売却益の増加、固定資産除却損の増加、投資有価証券評価損の増加、減損損失の増加、法人税の増加等により、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比で28百万円減少しました。

LPガスの市場環境

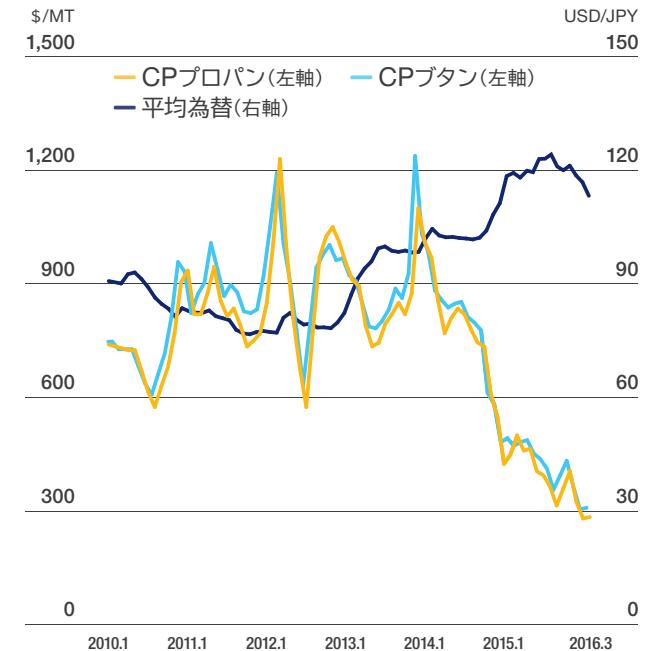


輸入が大半を占めるLPガスの価格は、LPガス輸出国であるサウジアラビアの国営石油会社サウジアラムコ社が、原油価格動向等をもとに自社の総合基準により決定する一方的な輸入通告価格CP(Contract Price)の影響を大きく受けております。

最近のCP動向を見ますと、原油価格動向に追随し今年2月には過去10年間で例を見ない285ドルまで下がりましたが、その後も低水準で推移し6月は330ドルとなっております。

原油価格は今年1月、1バレル30ドルを割り込む水準に急落しましたが、米国産シェールオイルの減産や地政学的要素により40ドル台を回復しました。ただ、中東などの産油国で構成する石油輸出機構(OPEC)はサウジアラビアとイランの対立で足並みが揃わない状況が続き、また1バレル60ドル超まで上昇した場合は再び米国産シェールオイルの増産も予想され、原油価格は1バレル50ドル近辺で一進一退が続くとの見方が多く、今後の状況を注視していく必要があります。

LPガス輸入価格と為替の推移

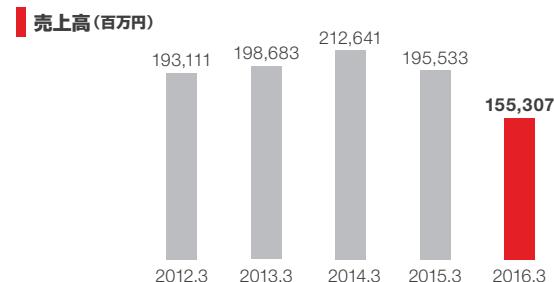




エネルギー事業

当期売上高 **1,553億07**百万円
前期比 **20.6%減**

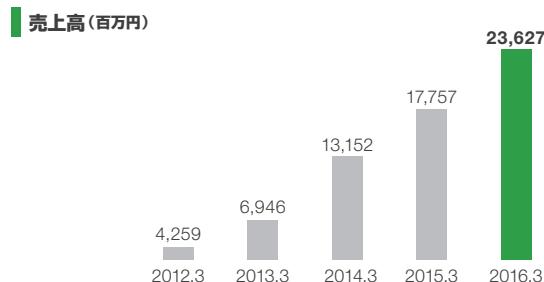
営業利益 **34億80**百万円
前期比 **0.4%減**



電力事業

当期売上高 **236億27**百万円
前期比 **33.1%増**

営業利益 **11億46**百万円
前期比 **22.3%増**



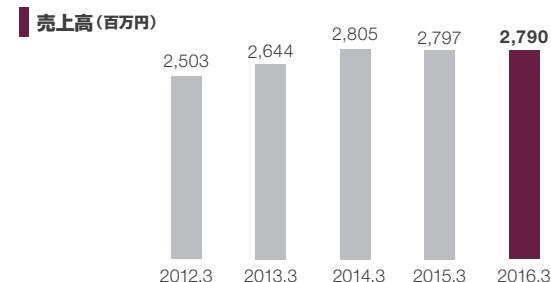
電気販売事業では、関東圏が中心の営業基盤でありましたが、西日本支店の開設を足掛りに、関西以西のマーケットを拡大したことによって、売上高は前期比33.1%増の236億27百万円、営業利益は前期比22.3%増の11億46百万円となりました。



PM/健康・スポーツ事業

当期売上高 **27億90**百万円
前期比 **0.3%減**

営業利益 **4億46**百万円
前期比 **11.6%増**



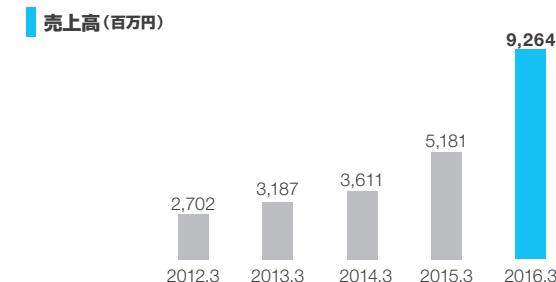
PM(不動産賃貸)事業は、マンションやオフィスビルの入居率向上を目指し各種施策を積極的に推進しました。横浜駅西口複合商業施設「HAMABOWL EAS(ハマボールイアス)」では各種キャンペーンを開催し、また新テナントとしてシミュレーションゴルフスクールがオープンしました。直営事業である温浴施設「SPA EAS(スパイアス)」とボウリング場「Hamabowl(ハマボール)」では、ホスピタリティの進化、おもてなし品質向上、Web集客に注力し、入場者数の増加、並びに客単価の引上げなど収益改善に注力した結果、売上高は前期比0.3%減の27億90百万円と微減なるも、営業利益は前期比11.6%増の4億46百万円となりました。



その他事業

当期売上高 **92億64**百万円
前期比 **78.8%増**

営業損失 **5億39**百万円
前期営業損失 **2億27**百万円



フード&プロビジョンズ事業では、勝水株式会社の株式取得による生産能力拡充と販売網拡大により飲料水の販売量が大幅に増加しました。また、企業や病院あるいは公共施設などにおける売店及び食堂の運営(ショップ&レストラン事業)を開始し、店舗数の拡大に努めました。その結果、売上高は前期比78.8%増の92億64百万円となった一方、リース事業において、リスク債権に対して適切な貸倒引当金を計上した結果、営業損失は前期比3億11百万円悪化し、5億39百万円の営業損失となりました。

「株式会社ココストアリテール」がグループ会社に

2016年2月、ミツウロコグループホールディングス及びミツウロコビレッジ（2016年4月1日より株式会社ミツウロコプロビジョンズに社名変更）は、株式会社ファミリーマート（以下ファミリーマート）との間で、包括提携契約並びにファミリーマートが保有する株式会社ココストアリテール（以下ココストアリテール）全株式の取得に関する株式譲渡契約を締結しました。

ミツウロコプロビジョンズが譲り受けた事業は、ココストアリテール管轄のボランティアチェーン事業（以下VC事業）、ファミリーマートが株式会社ココストアから承継したVC事業、コンビニエンスストア（ココストア、エブリワン等）の一部及び喫茶店事業等であり、4月より順次事業を開始しております。

これにより、ミツウロコプロビジョンズは、コカ・コーラグループ等から譲り受けたショップ&レストラン事業を含む約400店舗の運営基盤が確立され、新たなミツウロコブランドによる小売店舗の展開が可能となりました。

今後、「店内調理」など、特色あるサービスや地域に根ざした事業開発に取り組み、1,000店舗の運営を目指してまいります。
※ボランティアチェーン・・・小売店が経営の独自性を保ちながらチェーン本部に加盟し、共同仕入や業務協業化のメリットを享受する運営システム。

株式会社ココストアリテール 概要

社名／株式会社ココストアリテール
本社所在地／愛知県名古屋市中区栄一丁目8番18号
九州営業部／福岡県大野城市御笠川六丁目8番6号



四国地域に初進出 「神原ミツウロコ株式会社」設立

2015年8月、徳島県徳島市の神原エネルギー産業のLPガス販売事業を承継し、LPガスの販売を主とする「神原ミツウロコ株式会社」を設立しました。ミツウロコグループとしては四国地域に初めて進出することになり、徳島市を中心に新たな地域でのエネルギー及び周辺サービスを安全・安心・快適に提供する体制が整いました。永年培った販売ノウハウや物流サービスを展開することによって、より多くのお客様に価値ある快適生活を提供していきたいと思っております。

また、取引販売店により構成される全国ミツウロコ会の（仮称）四国支部設立に向け準備を進めてまいります。ネットワークを拡大し、幅広い情報提供や販売ノウハウの共有を促すことによりグループ全体のレベルアップを図ってまいります。

エネルギー自由化に対応した新たなサービス体制も構築し、今後まずは徳島で地盤を固め、四国全体を視野に入れながら、事業拡大を目指してまいります。



神原ミツウロコ株式会社 概要

社名／神原ミツウロコ株式会社
本社所在地／徳島県徳島市南沖洲一丁目7番9号
代表者／代表取締役社長 藤間 富春
事業開始日／2015年9月1日
株主／株式会社ミツウロコ（100%）
事業内容／LPガス販売、石油製品販売、住宅設備機器類販売

家庭用電力 「ミツウロコでんき」を提供開始

本年4月から、一般家庭等の低圧部門の電力販売も自由化されたことから、当社グループでは、ミツウロコと、特別高圧・高圧分野で平成27年度に約10億キロワット時の販売実績のあるミツウロコグリーンエネルギーが、低圧部門を対象に「ミツウロコでんき」の提供を開始しました。

ミツウロコグループでは、グループで所有するバイオマス発電所、太陽光発電所の再生可能エネルギー自社電源に加え、LNGや石炭を燃料とする発電事業者、自社グループ以外の再生可能エネルギー発電事業者と業務提携し、電源調達の最適化に取り組んでおります。

また、販売面では、電力の需給バランスを重視した販売戦略のもと、魅力的なサービスの開発に取り組むと共に、他分野から電力市場に参入する企業との協業により、販売網の拡大を推し進めてまいります。



「ミツウロコでんき」提供エリア
(2016年6月現在)

※ミツウロコグリーンエネルギー供給エリア含む



中古車買取店 「カークル」併設型 サービスステーション営業開始

ミツウロコ石油は、2015年11月より、溝の口SS内において独自ブランドの中古車買取店くるま買取「カークル」の営業を開始しました。

ミツウロコグループでは、自動車買取事業は既存事業（カーメンテナンス・車検・レンタカー・中古車販売）との相乗効果も大きく、お客様のカーライフサイクル（新車ご購入から処分まで）の全ての期間をサポートしていくなかでこの延長線上にあると考えております。溝の口サービスステーションは、野田サービスステーションに続き「給油・メンテナンス・車検・レンタカー・自動車買取」のサービスを一貫して行う“ワンストップカーサービスステーション”として展開してまいります。

今後も、高い集客力を誇るサービスステーションへの転換と自動車買取事業により、さらなる認知度の向上をはかり、より多くのお客様に対して、豊かなくらしのにないてとして貢献してまいります。

SS・カークル概要

SS名称	ミツウロコ石油 溝の口給油所
所在地	神奈川県川崎市高津区末長 四丁目11番21号
設備	手洗い洗濯機 1台
営業時間	7:00～21:00
サービス形式	セルフサービス



カリフォルニア発プレミアムバーガー 「カールスジュニア」日本1号店 オープン

ミツウロコグループは、米国カリフォルニア発プレミアムバーガーレストランチェーン「カールスジュニア」の日本での店舗展開を2014年12月に表明しておりましたが、2016年3月4日、待望の日本1号店となる秋葉原中央通り店をついにオープンいたしました。

カールスジュニアは1941年創業。世界で最も厳しいと言われている米国ハンバーガー市場で5番目の規模を誇るハンバーガーチェーンであり、アメリカのみならず全世界で3,500以上の店舗を運営しています。ミツウロコグループとしては、今回の1号店を皮切りに、2025年までに全国で150店舗まで拡大させる計画です。

ミツウロコグループはこれまでカフェや居酒屋、スパ、ボウリング場等、さまざまな業態の店舗運営を成功させてきました。その運営ノウハウを武器に外食カテゴリーを拡大させ、新たな事業の柱として成長させていきます。



店舗概要

店名	秋葉原中央通り店
住所	東京都千代田区外神田 四丁目4番3号
営業時間	平日 9:00～21:30 土日祝 8:00～21:30 (モーニング:～11:00)

株主優待制度の変更について
カールスジュニア1号店オープンを記念し、2016年3月31日現在、当社株式を1,000株以上保有されている株主様に対し、これまでの優待品に加え、「カールスジュニア1号店オープン記念特別お食事券」(1,000円相当)を追加いたします。
※来年度以降の継続については未定。

ミツウロコグループのCSR活動 「環境絵日記」コンテストに協賛

ミツウロコグループ創立90周年記念行事における社会貢献活動として、横浜市による市内の小学生向け「環境絵日記」コンテストに協賛しました。

2015年11月に行われた「環境未来都市・環境絵日記展」では、「ソーラーパネルを使った七輪」を絵日記に描き「ミツウロコ賞」を受賞した小学4年生の山之内 優香さんに、田島社長から表彰状をお渡しするとともに、当社で実際に「ソーラーパネルを使った七輪」の模型を作成し、小学校に寄贈しました。

絵日記の世界が実際に再現されたサプライズプレゼントに児童の皆さんは目を輝かせ、とても喜んでくださいました。こちらの小学校では、子どもたちが実際にソーラーパネルの仕組みを触ってみることができるよう、この模型を展示していただいております。

今後も、社会貢献を通じて企業活動に変換すべく、グループ全体でCSR活動を推進してまいります。



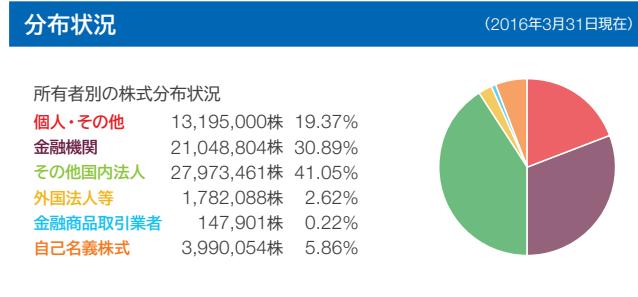
会社概要	
社名	株式会社ミツウロコグループホールディングス
英文社名	Mitsuuroko Group Holdings Co., Ltd.
主な事業内容	持株会社（グループの経営戦略・経営管理）
本社所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目1番1号
創立年月日	1926年（大正15年）5月10日
資本金	70億77百万円
従業員数	38名／連結：1,674名（2016年3月31日現在）

役員		(2016年6月28日現在)
代表取締役社長 グループCEO	田島晃平	
代表取締役 グループCFO	渡邊雅人	
取締役	二見 敦	
取締役	児島和洋	
取締役	川上 順	
取締役	大森基靖	
取締役	田島 謙	
取締役（社外）	柳澤勝久	
取締役（社外）	松井 香	
監査等委員である取締役	藤村孝明	
監査等委員である取締役（社外）	山田勝重	
監査等委員である取締役（社外）	菅原英雄	

株式の状況		(2016年3月31日現在)
発行可能株式総数	197,735,000株	
発行済株式の総数	68,137,308株	
株主数	5,077名	

上位株主				(2016年3月31日現在)
株主名	持株数(株)	持株比率(%)		
明治安田生命保険相互会社	5,544,000	8.64		
田島株式会社	4,327,000	6.75		
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	3,931,173	6.13		
東燃ゼネラル石油株式会社	3,894,061	6.07		
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口	3,201,700	4.99		
リンナイ株式会社	2,682,464	4.18		
橋本産業株式会社	2,405,300	3.75		
全国ミツウロコ会持株会	2,060,084	3.21		
株式会社パロマ	1,685,124	2.63		
株式会社三井住友銀行	1,676,331	2.61		

当社は自己株式を3,990,054株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。



株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告により、当社ホームページ（http://www.mitsuuroko.com/）に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

郵便物送付先・お問い合わせ先	
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324（未払配当金の受領など）

住所変更、単元未満株式の買取及び買増請求等のお申し出先につきましては、株主様が口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。
ただし、株券電子化に際して、株券を証券会社の口座に入庫しなかった等の理由により、特別口座において管理されている株式の場合は、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行が住所変更等のお申し出先となります。

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続取扱店（住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店、全国各支店及び営業所 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トランスラウンジではお取扱いきませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店及び全国各支店、みずほ銀行 本店及び全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります。）	
ご注意	支払明細発行については、右の「証券会社等に口座をお持ちでない場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。